



こ だ い ら

市議会だより



令和3年(2021年)4月25日 NO.247 発行／小平市議会 編集／広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ <https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp

代表質問の録画映像がご覧になれる、QRコードを掲載しました。
「代表質問」において、会派ごとにQRコ

ードを掲載しました。お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各会派の代表質問の録画映像をご覧いただけます。注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。



斎藤素巖作「エゴイスト」

美しい桜を前に静かにたたずむ（たけのこ公園）

令和3年3月定例会は、2月19日から3月26日まで36日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度の各会計予算など市長提出議案22件を可決し、1件を閉会中の継続審査としました。議員提出議案は、喜平橋周辺と歩道の安全確保のための早急な整備を求める意見書を可決、5件を閉会中の継続審査とし、請願は1件を採択しました。

また、2月22日には6つの会派から13件の代表質問があり、その後2月24日から3日間にわたり、25人の議員から50件の一般質問がありました。

3月定例会

令和3年度各会計予算を可決

～一般会計予算は686億7千万円に～

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

5月11日(火) 幹事長会議(※1)
5月15日(土) 市民と議会の意見交換会(※2)
5月17日(月) 幹事長会議(※1)
5月18日(火) 総務委員会
5月19日(水) 生活文教委員会
5月20日(木) 厚生委員会
5月21日(金) 環境建設委員会
5月25日(火) 請願・陳情締切り(午前中)(※3)
5月31日(月) 幹事長会議(※1)
6月 3日(木) 議会運営委員会(※1)

6月 8日(火) 6月定例会本会議(初日)
6月 9日(水) 6月定例会本会議(一般質問)
6月10日(木) 6月定例会本会議(一般質問)
6月11日(金) 6月定例会本会議(一般質問)
6月15日(火) 総務委員会
6月16日(水) 生活文教委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※4)
6月17日(木) 厚生委員会
6月18日(金) 環境建設委員会
6月21日(月) 広聴広報特別委員会

6月24日(木) 幹事長会議(※1)
6月25日(金) 議会運営委員会(※1)
6月30日(水) 6月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※1)
7月12日(月) 広聴広報特別委員会

(※1) 開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。
(※2) 詳細は8面をご覧ください。
(※3) 6月定例会初日上程の受付期限です。
(※4) 6月定例会最終日上程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

令和3年度予算総額

(単位：千円、%)

		3年度 予算額	2年度 予算額	伸び率
一般会計		68,670,000	69,086,000	△0.6
特別会計	国民健康保険事業	16,876,000	16,996,000	△0.7
	後期高齢者医療	4,569,000	4,470,000	2.2
	介護保険事業	14,720,000	14,165,000	3.9
下水道事業会計	収益的収入	4,303,819	4,351,161	△1.1
	収益的支出	3,845,279	3,945,534	△2.5
	資本的収入	891,157	1,097,441	△18.8
	資本的支出	1,735,203	1,797,308	△3.5

令和3年度
一般会計予算。
各特別会計予算。
下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月2日から4日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月5日に審査が行われました。定例会最終日には、幸田昌之一般会計予算特別委員長と吉本ゆうすけ特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

【一般会計】

予算総額は6百86億7千万円で、前年度当初予算に比べ0・6%、4億1千6百万円の減と

なっています。限られた財源を真に必要な事業に振り向け、持続可能な財政運営を実現し次世代に対し責任を持って事業に取り組むための予算としています。

〔歳入〕市税が前年度比13億4千3百万円の減となるため基金の活用や臨時財政対策債の発行を10億7千9百万円増額します。

〔歳出〕障害者自立支援給付費等の増などで扶助費が引き続き増額していますが、骨格予算であるため、市民生活に影響が生じない範囲で、新たな施策の経費や投資的経費を抑えています。

〔国民健康保険事業特別会計〕予算総額は百68億7千6百万円で、前年度比0・7%、1億2千万円の減となっています。

〔歳入〕保険料は前年度比4・8%、約1億6千7百88万円の減となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から1億5千万円を繰り入れ収支の均衡を図ります。

〔歳出〕予算の6割強を占める保険給付費は、前年度比1億円減の百10億円を計上しています。

〔後期高齢者医療特別会計〕予算総額は45億6千9百万円で、前年度比2・2%、9千9百万円の増となっています。

〔歳入〕保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

〔歳出〕広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費等を計上しています。

【後期高齢者医療特別会計】

予算総額は百47億2千万円で、前年度比3・9%、5億5千5百万円の増となっています。

〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、繰入金等を計上しています。

〔歳出〕令和3年度から3年間の保険料基準額を500円引き上げ、月額5千8百円としています。

〔歳出〕保険給付費は、前年度比4・3%、約5億5千4百30万円の増を見込んでいます。

要支援要介護認定者数は、前年度比4・6%増の9千6百81人を見込んでいます。

〔下水道事業会計〕収益的収入は43億3百81万9千円で、前年度比1・1%、4千7百34万2千円の減です。

収益的支出は38億4千5百27万9千円で、前年度比2・5%、1億25万5千円の減です。

〔資本的収入及び支出〕資本的収入は8億9千15万7千円で、前年度比18・8%、2億6百28万4千円の減です。

資本的支出は17億3千5百20万3千円で、前年度比3・5%、6千2百10万5千円の減です。

フォーラム小平 賛成

全体として適正な予算であると判断

保育園待機児童対策等の喫緊の課題に対応し、ICT化にも取組が予定されているなど、全体として適正な予算と判断した。なお、①HPVワクチン接種は、メリットと共に副反応の情報提供にも努めてほしい。②DXの推進担当課長ができるが、国や都の機関のカウンセラーパートとしてのみ機能することがないように

保育園待機児童対策等の喫緊の課題に対応し、ICT化にも取組が予定されているなど、全体として適正な予算と判断した。なお、①HPVワクチン接種は、メリットと共に副反応の情報提供にも努めてほしい。②DXの推進担当課長ができるが、国や都の機関のカウンセラーパートとしてのみ機能することがないように

政 和 会 反対

財源確保の取組や新型コロナウイルス対策が不十分な点などを指摘

①危機的な財政状況の中で財源確保の姿勢がない。②予算構築の指針、予算方針が不適当である。③DX取組へのトップの姿勢が見られない。④コロナ禍での複合災害などへのリスクヘッジができていない。⑤新型コロナウイルス対策が脆弱である。⑥骨格予算に花小金井武道館解体費を計上する必要の根拠がない。

市議会公明党 賛成

市民の生命と生活を守るため一定の事業展開がなされている

①がん検診の受診勧奨案内の全戸配布、②健康ポイントとボランティアポイントの事業統合、③フレイル予防推進員の配置、④生活困窮者の支援体制の強化、⑤災害時の蓄電池設置への助成の検討、⑥ICT支援員の配置、⑦各種証明書のコンビニ交付は評価できる。なお、使用料等の見直しは公平性の観点から粛々と進めるべきである。公共交通は、総合的な交通体系を整理し見直す必要がある。ごみ袋の値下げ時期の前倒しを検討すべきである。空き家対策は、福祉連携で借りる側に寄り添う居住支援を進めることを求める。単身生活保護世帯の孤独死が年間16人発生したことは信じがたい現実であり、職員配置が適正でないことの証明であることなどを指摘する。

一般会計予算に対する
各会派の討論
(要旨)

まちづくり市民こだいら 反対

骨格予算に入れる事業選択の基準が不明瞭であると指摘

①花小金井武道館解体は、着手の遅れで大きな問題が生じるわけでもなく骨格予算に入ることが理解できない。②中央公民館等の複合化は新市長の下で慎重に検討すべきである。③小平駅北口再開発事業は、新市長の下、住民と共にゼロベースで検討し直すべきである。④2020オリンピック・パラリンピックのコミュニティライブサイ

トはコロナ禍に人を集める事業となり疑問である。⑤公共施設整備基金に約1億5千万円積み立てる一方、緑化基金の積立は3千万円で残念である。なお、こだいら生活相談支援センターへのコミュニティソーシャルワーカー増員による相談支援体制の拡充などは評価する。また、地下水活用による流水再生事業は継続するよう願う。

生活者ネットワーク 賛成

コロナ禍での市民生活に軸足を置いた予算となっている

事業の見直し等で財源を確保し、堅実な予算編成と受け止めている。なお、①いきいき協働事業で、男女共同参画についての連続講座の開催を評価するが、今後は、男女共同参画センター事業として専門的知識のある職員の配置等を要望する。②保育園の新規開設による待機児童の解消は進めてほしいが、保育の質のガイドライン作成を改

めて要望する。③こだいら生活相談支援センターにコミュニティソーシャルワーカーの増員が図られることを評価する。④都市計画公園整備は、市民と共に進めていくことを要望する。⑤次期教育振興基本計画策定に当たり、多様な意見を取り入れていくことや、子どもたちの直接の意見交換の場を設けていくことなどを要望する。

日本共産党小平市議団 賛成

保育園待機児童対策、コロナ禍での生活困窮者への支援等を評価

①待機児童解消に向け、2021年度に1園、2022年度に3園の認可保育園をつくることは評価するが、児童数増加に間に合っておらず、追加対策を要望する。②コロナ禍での生活困窮者のための就労準備支援等を評価するが、PCR検査数の拡充を要望する。③GIGAスクール構想でのICT支援員配置等を評価するが端末使用による目

の疲労など課題への対策を要望する。④コミュニティタクシーは評価するが南西部地域への運行等を要望する。⑤平和事業の継続を高く評価し、さらなる充実を求める。なお、教職員の子宮頸がん検診と乳がん検診は継続し残すよう強く要望する。予算のマイナスシリングは市民の命と健康等に影響がないよう精査することを指摘する。

一人会派の会 反対

目先のことしか見ておらず、将来を見据えた予算になっていない

①花小金井武道館の解体費用など、骨格予算でありながら市の独自施策など政策判断を基に計上されたものが多く含まれる。②97・3%という非常に高い經常収支比率で弾力性に乏しい予算で、将来の見通しが立たない財政状況を打開する姿勢が見えない。③補助金改革の姿勢が見えない。④小平市東京オリンピック・パラリンピッ

ク子ども夢・未来基金は、事業の実施が不透明である以上、廃止し、新型コロナウイルス対策など柔軟に活用すべきである。⑤教育委員会の予算について、将来を担う人材のための予算に、他分野と同様、6%のマイナスシリングをかけたことは将来の小平市に対する裏切りである。なお、会派内で賛成する議員がいることを申し添える。

新しい議員の紹介



とやま 外山 まなみ

会派 政和会
住所・電話 小川東町2-13-8-405
042-313-6961
委員会 総務委員会



おかだ 岡田 しんぺい

会派 フォーラム小平
住所・電話 鈴木町1-290
042-343-3939
委員会 環境建設委員会



いづ 石津 はるか

会派 政和会
住所・電話 学園東町1-7-11-206
050-3709-3286
委員会 環境建設委員会

欠員になっていた市議会議員の補欠選挙が4月4日に行われました。任期は、令和5年4月30日までです。当選した議員と、その所属する会派、委員会等は次のとおりです（左から50音順）。

その他の主な議案

令和2年度一般会計
補正予算（第8号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業の経費を計上し、補正予算第4号で予算化した新型コロナウイルス感染症対策の事業の過不足を調整等するものです。

歳入歳出それぞれ13億1千3百14万8千円増額し歳入歳出予算総額をそれぞれ9百56億7千9百43万5千円とするものです。

議会人事

小平市土地開発公社評議員会評議員

松岡あつし（総務委員長）

令和3年度一般会計
補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症対策の経費を計上するものです。

中江 美和（環境建設委員長）

小林 洋子 鈴木 洋一
安竹 洋平 山岸真知子
山崎とも子

代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっております。市長または教育長が答弁します。今回は、6会派から13件の質問があり、紙面にはその質問及び答弁の要旨を掲載しました。（QRコードの注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。）

市議会公明党

佐藤 徹議員



市民を守り、コロナと闘う市政を

議員 デジタル化実行施策の推進に当たり、今後の取組は。

市長 デジタル技術を扱うことができる人とできない人の間に生じるデジタルデバイドという格差是正の取組は、今後重要になると認識している。国等が示す是正の対策は、現時点で詳細が示されていないため、今後の動向を注視し検討していく。

安全・安心なまち小平の実現を 目指して

議員 感染症拡大防止の観点から避難所管理運営マニュアルの作成、見直しが必要だが検討は。

市長 令和2年8月に避難所管理運営マニュアル作成の指針増補版、新型コロナウイルス感染症対策策編を策定した。マニュアル作成済みの地区には見直しを促し、作成中の地区には増補版を踏まえた作成を支援している。

市民の健康を守るために

議員 庁内で発足した健康プロジェクトチームの進捗状況は。

市長 基本理念を健康な生活を目指す健康に暮らせるまちこだいらとし、基本目標を若い世代の健康意識づくり元氣な体づくりとして掲げ実施事業の検討等を行っている。令和3年度は約10件の取組実施を検討している。

ポストコロナ時代の誰一人取り残さない人間教育の実現

議員 35人学級実現に向けて教員と教室の体制整備の取組は。

教育長 教員は、都の教職員定数配当方針に基づき学級数に応じ配置される。教室は、今後の児童数の増減に関する想定も踏まえ、学級編制基準に適合した必要教室数を把握し不足分は特別教室の転用等で対応していく。

政和会

松岡あつし議員



新型コロナウイルス対策と市民の暮らしと命を守る

議員 ①新型コロナウイルス対策として事業者支援に関する主な施策と効果は。また、今後どのような施策が有効と考えるか。

②DX・ICT推進に関して令和3年度に何を進める考えか。

③市は災害対策本部の図上訓練を職員のみで行ったが、今後同様の実践的訓練をするのか。

④GIGAスクール構想について、タブレット端末の学校現場での使用方法は。

市長 ①家賃支援給付や4か月にわたるキャッシュレス決済によるポイント付与等を行い一定の効果を出していると捉えている。今後も国等の支援が行き届かないところへの支援策を行っていくことが有効と考えている。

②引き続きRPA等のICT新技術を活用した事務の効率化や、市役所に来庁しなくても各

種の手続が行える電子申請サービスの拡充等、市民の利便性向上につながる取組を進めていく。

③現在実施している緊急初動要員訓練等に加え、今回と同規模の図上訓練を実施することは困難であるため、それぞれの訓練内容を見直すなど、より効果的な訓練の実施に努めていく。

教育長 ④令和3年度は学校での活用を基本とし、児童・生徒が基礎的な操作を習得したり、児童・生徒の学習への興味・関心を高め、理解を深めたりするため、教科書の二次元コードの読み取りやインターネットを用いた情報収集、デジタル教材を活用した学習活動を行っていく。

フォーラム
小平 富美議員



つながり、共に創るまちこだいらをつくる財政状況について

議員 経済状況が悪化するコロナ禍で、鎌倉公園などの都市整備計画を進めることへの見解は。

市長 都市計画事業は国等の補助金等活用で、他の事業財源に影響なく実施できることなどから事業計画に沿って進めていく。

常に市民と共にコロナ禍を闘う姿勢があるのか

議員 商工会と連携し商工業施策を行ってきたが、その総括は。

市長 歳末キャンペーン等による市内消費の促進施策等の実施により、市内事業者に加え消費者である市民への支援として一定の効果があつたと捉えている。

女性の活躍について

議員 一般社団法人すだちへの助成金支出が終わるが、女性の

活躍推進をどう行っていくのか。

市長 一般社団法人すだちとは今後も相互に連携等を図り、女性の就業・起業を支援していく。

また、再就職を考えている人に向けた女性の就労支援講座等の開催で女性活躍を推進していく。

ICT活用が学校教育に及ぼす影響について

議員 タブレット端末を使った授業で目指す子どもたちの姿は。

教育長 情報活用能力を身につけ高度情報化社会の中でICT機器を効果的に活用することで、将来にわたり生き生きと活躍できる児童・生徒を目指していく。

一人会派の会

中江 美和議員



第三次長期総合計画の総括と第四次長期総合計画の基本目標

議員 ①第三次長期総合計画の新中期的な施策の取組方針のテーマ（重点施策）39項目の中で遅れているものは。

②第四次長期総合計画に掲げる3つの基本目標のために考えている施策で、次の市長に引き継ぎたいものは。

市長 ①現時点で、テーマごとに設定しているいずれの目標値も、指標となる数値が初期値に対して一定の増加がない見直しであるものは、協働のさらなる推進、障がい者の自立にむけた支援の充実、都市計画道路の整備推進、公共交通の充実の4テーマである。

②新市長に施策を引き継ぐというのではなく、新市長の下で各分野の課題等を横断的に捉え、優先順位をつけながら実施していくものと考えている。

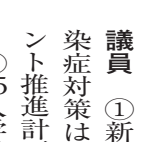
教育行政のこれまでの評価と今後の取組方針について問う

議員 教育長が取り組んだことで達成できたものと未達成のものについて、成果と決意は。

教育長 コミュニティ・スクーを14校に設置したほか、教員の長時間勤務の改善等に取り組んできた。今後は、ICTを活用した教育活動等を推進し、教育の質の向上等に努めるなどしていく。今後も、小平市の教育が目指す人間像の実現に向け、様々な取組を進めていく。

日本共産党

小平市議団
細谷 正議員



新型コロナウイルス感染症に

議員 ①市は独自に全医療機関に対し、直ちに減収補填など十分な財政支援を行うべきでは。

②コロナ禍での東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催についての認識は。

③新型コロナウイルス感染症の未曾有の危機に、市民に向けて市長として使命を果たす決意は。

市長 ①国が既に医療機関への支援事業を実施しており、市独自の支援の実施は考えていない。

②会場等の感染症対策や医療従事者の確保等が課題であり、大会組織委員会を中心に解決に向け検討していると聞いている。大会の開催はこのような課題が解決されることが前提であり、開催される場合は、市として関連する事業を安全に、安心して実施できるよう準備を進めておくことが必要と認識している。

③市では新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備に全

力を取り組むとともに、新年度予算でも感染症対策に関連した事業予算を計上している。引き続き国等と役割分担をして連携しながら、市民の命と暮らしを守ることを第一に必要な確かな施策を積極的に展開していく。

生活者
ネットワーク

山崎とも子議員



公共施設マネジメントを好機に
小平らしい学校教育の推進を

議員 ①新型コロナウイルス感染症対策は、公共施設マネジメント推進計画にどう影響するか。

②35人学級をどう推進するか。

③学校施設の更新に当たって、バリアフリー化やインクルーシブ教育をどのように推進するか。

市長 ①ハード面では密閉に対する換気対策など、ソフト面ではICT機器の整備等を検討する必要がある。次期推進計画の策定に当たり、市民が安全・安心に公共施設を利用できるよう、新しい生活様式の定着状況等を注視しつつ検討を進めていく。

教育長 ②東京都が定める学級編制基準に従い、35人学級の実現に向けて努めていく。引き続き、東京都教育委員会を通じて、国や都に対し、教職員の配置等、必要な支援を要望していく。

③バリアフリー化は、エレベーターやだれでもトイレ、スロープの設置等を行っていく。インクルーシブ教育は、児童・生徒一人一人に合わせた多様な学びや、それぞれの特性や障害に応じた支援ができるよう、教室内の区画を状況に応じて変更可能な造りにするなどの工夫が必要であると認識している。

市政を問う

一般質問 要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問・各会派の代表質問の録画映像をご覧いただけます。

- * 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
- * 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。

（QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。）



各種経済支援策の継続を／鈴木遺跡国指定史跡化の活用を
橋本孝二議員
（市議会公明党）



新型コロナウイルス感染症に対する各種経済支援を継続すべき

質問 ①QRコード決済のauPAY、PayPayキャンペーンにおける最終実績は。

②各種経済支援策への評価は。

市長 ①auPAYの10月、12月の決済額は約1億8千7百万円、ポイント還元額は約4千8百万円、PayPayの11月、1月の決済額は約13億4千万円、ポイント還元額は約3億4千5百万円である。

②市民等から感謝の手紙等をもたらすなどの反響があり、市内消費の下支えと事業継続に一定の効果があったと捉えている。



ワクチンだけに頼らず健康なからだづくりを
伊藤 央議員
（一人会派の会）



ワクチンだけに頼らない季節性インフルエンザ予防の推進

質問 ①昨年8月31日から今年1月24日までの累積インフルエンザ患者数は全国で793人だった。過去5年間の同期間の平均は約68・5万人で今シーズンは約0・12%にとどまっている。その原因への受け止めは。

②ワクチン接種とマスク、手洗い等の予防策の有効性、危険性を比較してどちらを市民に勧めるべきと考えるか。

③抵抗力、免疫力を高めるために有効な食生活や生活習慣は。

④抵抗力、免疫力を高める食生活や生活習慣について積極的な取り組みについて



防災対策を進めるべき／児童・生徒を守る通学路であるために
幸田昌之議員
（市議会公明党）



より実効性のある防災対策を進めるべき

質問 ①1月17日に実施した図上訓練の評価と今後の展開は。

②愛知県豊橋市が避難所ごとに初動活動ボックスを設置したが、小平市でも必要では。

市長 ①災害対策本部の初動対応力の強化等を目的に実施し、訓練の目的はおおむね達成できた。今後、現在実施している訓練に加えて、今回と同規模の図上訓練実施は困難なため、それぞれの訓練内容を見直すなど、より効果的な訓練実施に努める。

②避難所管理運営マニュアルの作成を優先し、その後に初動



これまでの新型コロナウイルス感染症対策を今後にかすため
さとう悦子議員
（生活者ネットワーク）



これまでの新型コロナウイルス感染症対策を今後にかすため

質問 ①市内で感染者数が急増した原因について認識は。

②在宅療養者に対し市が行っている支援は。

③新型コロナウイルス感染症のワクチンの安全性と有効性は。

④令和元年12月と令和2年12月の子ども家庭支援センターが受けた虐待などの相談件数は。

⑤キャッシュレス決済でのポイント還元や歳末、年始キャンペーンの成果と課題は。

市長 ①無症状感染者の増加等、様々な要因が重なったことで全国的に急激に感染が広がった。



コロナ禍における市職員の働き方改革について
中江美和議員
（一人会派の会）



コロナ禍における市職員の働き方改革について

質問 ①この4年間で、係長以上の職員で、メンタル不調による休職者は何人いるか。

②休職者への認識と改善は。

③今回の2回目の緊急事態宣言下においては、なぜテレワークを実施しないのか。

④時間外勤務の経費を適切な職員配置のための職員数確保に回すべきと考えるが、見解は。

市長 ①平成29年度は延べ3人、30年度は延べ4人、令和元年度は延べ5人、2年度は1月末現在で延べ10人である。

②職場にとっても大きな影響



児童・生徒の近視対策と特別支援学級のバス送迎対象の拡大を
佐藤 徹議員
（市議会公明党）



児童・生徒の近視対策と特別支援学級のバス送迎対象の拡大を

質問 ①小・中学校における児童・生徒への今後の近視対策は。

②小学校特別支援学級における小学3年生までの児童へのバス送迎について、対象を全学年に拡大すべきだが今後の対応は。

教育長 ①遮光カーテンや照明の適切な使用で教室内と机上を適度な明るさに保ち、ICT機器を長時間連続して使用しないよう各学校に周知を図っていく。

②保護者から相談があった場合は、個別の必要性を判断の上、自力での登校訓練実施を条件に、4年生修了時まで延長を認めて



年始に行われたキャンペーンのクーポン券（令和3年2月28日終了）



令和2年度総合防災訓練／
消防団員の待遇を改善し人員確保を
鈴木洋一議員
（政和会）



令和2年度総合防災訓練、
災害対策本部運営図上訓練について

消防団員の減少に危機感、
待遇を改善し人員確保を

質問 ①訓練に参加した人数は。

②警察や消防など防災関係団
体の参加は検討しなかったのか。

③今回の訓練への評価は。

市長 ①99人である。

②新型コロナウイルス感染症
感染防止のため3密を避ける必
要があり市職員のみで実施した。

③発災時における災害対策本
部の初動対応力の強化等を目的
に実施し、目的はおおむね達成
できたと捉えている。今後は、
訓練支援業務委託業者の訓練報
告書の内容も踏まえながら、課
題等の整理を行っていく。



新型コロナウイルス感染症
自宅療養者への支援体制の強化を
虹川 浩議員
（市議会公明党）



新型コロナウイルス感染症
自宅療養者への支援体制の強化を

質問 ①市の新型コロナウイルス
累計感染者数は。

②多摩地域を中心に自宅療養
者フォローアップセンターが設
置され、保健所等が健康状態を
フォローするとされていたが、
1月25日開始の保健所による具
体的支援内容と市との連携は。

③これまで国や東京都にパ
ルスオキシメーターの小平市へ
の配備の要望はしたか。

④健康管理、見守りのための
機器やアプリ導入への見解は。
市長 ①多摩小平保健所からの
情報に基づく、2月21日時点の



PCR検査の戦略的実行／
福祉施設の社会的検査／若者等支援
鈴木だいち議員
（日本共産党小平市議団）



PCR検査の
戦略的実行を
求める

質問 PCR検査を拡充し、無
症状感染者を早期に発見し保護、
治療に結びつけることが感染拡
大を抑え、医療機関等の逼迫を
防ぐために有効だが、見解は。

市長 ①令和2年4月1日時点
で、40・8歳である。

②現役団員等による勧誘や自
治会の推薦等である。令和2年
度は新型コロナウイルス感染症
拡大で対面での勧誘が難しいが、
電話等でできる限りの勧誘活動
をしていると聞いている。

③令和2年4月1日時点で、
43・7%である。



自宅療養者へのフォローアップを／
扶養照会はやめるべき
きせ恵美子議員
（日本共産党小平市議団）



自宅療養者への医療的
フォローアップを

質問 ①令和2年4月2日の国
の通知に、自宅療養の健康状態
のフォローアップ等を行う都等
は、市町村とも連携するなど関
係機関との調整を行うという項
目があるが、市の取組状況等は。

②保健所の体制強化と市との
連携の仕組みづくりが必要では。
市長 ①自宅療養者の情報は東
京都が一元的に管理しており、
市では詳細な情報を把握してい
ない。引き続き東京都と緊密な
情報共有に努めていく。

②前者は、都が適切に対応を
講じていくと認識している。後



女性が不利益を被らないために／
コロナ禍を踏まえた公共交通
山岸真知子議員
（市議会公明党）



コロナ下において女性が
不利益を被らないために

質問 ①ゲートキーパーの必要
性を提案しているが市の現状は。

②独り親家庭への市独自の支
援策を実施すべきだが見解は。

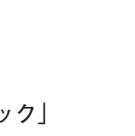
市長 ①市職員や関係団体職員
などを対象に、外部講師を招き
ゲートキーパー養成講座を実施
するなどしている。今後も機会
を捉えて、より多くの人にゲー
トキーパーを理解してもらえ
るような取組を行っていく。

②経済的支援等を国や都が拡
充する中で、市も最大限その方
向に沿って実施している。市独
自の支援策の実施予定はないが、

③緊急事態宣言下での新入学
説明会で工夫した点はあるか。
教育長 ①文部科学省の学校に
おける新型コロナウイルス感
染症に関する衛生管理マニュアル、
小平市立学校版感染症予防ガイ
ドラインに基づき行っている。



女性がより安心して活躍できる
小平市にするために
水口かずえ議員
（まちづくり市民こだいら）



女性がより安心して活躍できる
小平市にするために

質問 ①女性相談の体制の拡充
が必要ではないか。

②SOGIやLGBTに関す
る相談を始めてはどうか。

③男女共同参画センターの機
能強化にどう取り組むか。

④女性活躍推進法の改正で、
新たに一般事業主行動計画の策
定、公表義務の対象となる市内
事業所数は。

⑤庁内の女性管理職の割合が、
目標30%に対して、実際は18%
にとどまった要因は何か。
市長 ①本年度の1日平均相談
件数は4・2件で約半分の稼働



学校コロナ対策と子どもの健康／
施設複合化と避難所の考え方
山崎とも子議員
（生活者ネットワーク）



小・中学校の新型コロナウイルス
対策と子どもの健康について

質問 ①市立小・中学校での新
型コロナウイルス感染症対策は
何に基づいて行われているか。

②換気による教室内の寒さ対
策は。

③緊急事態宣言下での新入学
説明会で工夫した点はあるか。
教育長 ①文部科学省の学校に
おける新型コロナウイルス感
染症に関する衛生管理マニュアル、
小平市立学校版感染症予防ガイ
ドラインに基づき行っている。

②暖房機等の使用とともに児
童・生徒の個別の状況に応じ防
寒着の着用を認める等している。
の登録について周知していく。

②今後、避難所や避難経路等
が変わることも想定されるため、
引き続き、日頃の備えの必要性
や避難行動要支援者登録簿へ
の登録について周知していく。



女性がより安心して活躍できる
小平市にするために
水口かずえ議員
（まちづくり市民こだいら）



女性がより安心して活躍できる
小平市にするために

質問 ①女性相談の体制の拡充
が必要ではないか。

②SOGIやLGBTに関す
る相談を始めてはどうか。

③男女共同参画センターの機
能強化にどう取り組むか。

④女性活躍推進法の改正で、
新たに一般事業主行動計画の策
定、公表義務の対象となる市内
事業所数は。

⑤庁内の女性管理職の割合が、
目標30%に対して、実際は18%
にとどまった要因は何か。
市長 ①本年度の1日平均相談
件数は4・2件で約半分の稼働



独り親家庭への支援策を周知する「ひとり親家庭応援ガイドブック」



第十三小学校的今後の在り方／
小川駅西口地区再開発等諸課題
細合 正議員
（日本共産党小平市議団）



小平第十三小学校的
今後の在り方について

質問 ①小平市公共施設マネジメント推進計画での学校の在り方について見解は。

②小平第十三小学校的の特筆する点と今後の学校の在り方は。

市長 ①小学校は地域コミュニティ拠点になっており、地域対応施設は拠点化を図り、小学校を中心とした複合化を進める。

教育長 ②前者は、小平第二中学校と合同で学校経営協議会を設置しコミュニティスクールとなったことなどである。後者は、学校更新後も学校を中心とした地域コミュニティ活動が継続



コロナ禍の障がい者支援の在り方／
小川西町地域の安全対策
吉本ゆうすけ議員
（フォーラム小平）



コロナ禍の障がい者支援の
在り方について問う

質問 ①コロナ禍で同行援護の希望どおりの利用が難しい環境になっているが状況把握は。

②点字ブロックや音声式信号機について当事者目線で利用環境の確認を取るべきだが見解は。

市長 ①同行援護給付費の支給額が、令和2年12月末で、前年度同時期と比較し約40%減少していることなどから、利用が難しい環境にあると認識している。

②今後も、点字ブロックや音声式信号機に関する設置や改善等の要望を受けた際には、交通管理者の協力も得ながら必要



自殺対策の推進／GIGAスクール
構想・タブレット活用推進
松岡あつし議員
（政和会）



新型コロナウイルス対策として
必須の自殺対策を進めるべき

質問 ①自殺対策計画を策定しないのはなぜか。

②現行の自殺予防対策は何か。

③ゲートキーパー養成講座の受講者数の目標値は。

④「死にたい、孤独」等をインターネット検索すると相談窓口につながる事業等を行っては。

市長 ①国の手引きでは必ずしも単独の計画策定の必要はないとされており、健康増進プランで自殺対策事業を行っている。

②ゲートキーパー養成講座等の普及啓発等を行っている。

③数値目標はない。

④国等が実施するSNSでの相談の情報提供に努めている。

コロナに負けないGIGA
スクール構想・タブレット活用推進

質問 ①GIGAスクール構想の目標は。

②タブレットを自宅に持ち帰る等、学習補助への活用は。

③ディスレクシア等支援が必要な児童等に寄り添ったタブレット活用方法を整備できないか。

④推進体制を強化できないか。

教育長 ①児童等が1日1回程度活用することが目標である。

②個別の事情ごと慎重に検討。

③視覚的な教材提示等する。

④ICT支援員の配置等する。



花小金井駅周辺の環境整備／
新型コロナ被害に一步先行く支援
川里富美議員
（フォーラム小平）



花小金井駅周辺の
環境整備を進めるべき

質問 ①花小金井駅周辺は際立つたばこのポイ捨てが多いが、抑制する工夫に何をしているか。

②花小金井駅前通りの、東部出張所前を左折して一方通行に入る横断歩道は、令和2年末に交通事故があったが、対策は。

市長 ①喫煙マナーアップキャンペーンでのポイ捨て防止の啓発のほか、令和元年度に南口公衆喫煙所を改修し、歩きたばこ防止等の環境整備に努めている。

②比較の見通しのよい交差点だが、危険な状況が認められる際は交通管理者とも連携を図りながら検討していく。

交通安全対策に努めていく。

新型コロナウイルスによる
被害に一步先行く支援を

質問 ①新型コロナウイルスに

抑制する工夫に何をしているか。

②京都市では「黙食協力をお願い」のポップを作り配布した

が同取組を小平市でも行つては。

教育長 ①正しい知識を基に理解を深めることや周囲の人に相談することが大切と指導している。

②感染した人の治療の状況やその後の経過など詳細情報を把握していないため行っていない。



社会的弱者と医療体制を守る／
新型コロナワクチン接種体制
小林洋子議員
（フォーラム小平）



社会的弱者を守り
医療体制を崩壊させないために

質問 ①在宅の独り暮らし高齢者等の社会的弱者には、見回り、介護等の適切な支援が必要では。

②新型コロナウイルス感染症自宅療養者への支援で後遺症が残った人へのフォローアップは。

市長 ①コロナ禍でも福祉事業所は業務を継続し、必要な人に介護サービス等を提供している。

民生委員による訪問活動等の対応を図るほか、市等で相談を受け、必要な支援につなげている。

②感染した人の治療の状況やその後の経過など詳細情報を把握していないため行っていない。

質問 ①現在捉えている課題は。

②一般の接種開始まで、市民にどのような情報をどのように広報していくのか。

市長 ①ワクチン接種を行う医師、看護師等の人材や予算の確保、ワクチンの供給時期や量についての国からの具体的な情報の不足など様々な課題がある。

②接種時期が明らかになった段階で接種券に同封する案内通知や市報臨時号等で広報を行っていく。また、準備が整い次第、コールセンターを設置し、問合せへの対応を行っていく。



コロナ対策／視覚障害者の意思疎通支援／学校教材の現金徴収
竹井ようこ議員
（フォーラム小平）



最も身近な基礎自治体として
市民に寄り添う新型コロナ対策を

質問 ①自宅療養者への支援は。

②介護者や独り親が陽性と診断された場合、当該要介護者や子どもに対してのサポートは。

市長 ①市では詳細を把握しておらず多摩小平保健所が適切に対応していると認識している。

②前者は介護施設への受入れ体制を整備するなどしており、後者は保健所と児童相談所の連携で一時保護などが図られる。

視覚障害者等への意思疎通
支援を拡充することについて

質問 視覚障害者への読み書き

支援のニーズに対する捉えは。

市長 ウェブ会議への参加支援等ニーズが多様化しておりさらなる支援が必要と認識している。

小・中学校の教材費等は
現金徴収から脱却を

質問 ①教材費などの口座振替を行っている小・中学校の数は。

②口座振替やキャッシュレス決済などを採用すべきでは。

③年間の徴収計画への考えは。

教育長 ①合わせて9校である。

②金融機関を利用した徴収等が望ましい。引き続き研究する。

③会計の透明性、保護者の信頼を得るのに必要であり各校に



再生可能エネルギー推進を／
子どもたちに魅力ある放課後を
山浦まゆみ議員
（生活者ネットワーク）



東日本震災から10年、改めて
再生可能エネルギー推進を

質問 ①太陽光発電日本一プロジェクトの成果、課題は。

②太陽光発電をはじめ再生可能エネルギー推進による創エネルギー等をさらに推進するために、どのような取組が必要と考えるか。

市長 ①成果は太陽光発電設備の導入量拡大や再生可能エネルギー活用が高まったこと等である。課題は固定価格買取

制度の買取り価格低下等である。

②第三次環境基本計画に基づき、市民や事業者への太陽光発電設備や蓄電池の設置の支援などに取り組んでいく。

放課後子ども教室の充実化で
子どもたちに魅力ある放課後を

質問 ①市立小学校全19校のうち、年間を通して開設されている教室数の平均、また、最も多い学校と少ない学校の教室数は。

②学校によって教室数にばらつきがあるが、差を埋めるためなどで検討していることは。

教育長 ①平均は約4教室で、教室数の最も多い学校は16教室、少ない学校は1教室である。

②事業開始から8年間をかけて全校での実施に至ったことなどから差が生じている状況がある。各校のよい取組の情報共有を図り充実に努めていく。



東京都のゲートキーパー啓発のチラシ
（出典：東京都保健政策部健康推進課自殺総合対策担当ホームページ）



カーボンニュートラルの圧力下で市が誤った道を進まめように
安竹洋平議員
（一人会派の会）



カーボンニュートラルの虚実を、まず科学的に捉えよ

質問 ①令和元年度末の市内太陽光発電規模約5千3百47^キワットの実現に市が投じた総額は。

選挙を良くするため、再度問う

質問 期日前投票の拡充は新人に不利に働く。拡充するなら同時に選挙公報サイトの周知を早める必要があるとし、具体的提案を令和元年6月の一般質問で行った。検討状況は。

②暖房のエネルギー消費量は非常に大きい。ペレットストーブや暖炉の活用により、二酸化炭素総排出量を大きく減らせる。市内で伐採した樹木や剪定枝をペレットにし、市内公共施設等でペレットストーブの試験的な運用をしてはどうか。

市長 ①国や都等の補助金を除き約2億4千8百32万円である。②ペレットストーブは環境に優しいストーブだが、ペレット



助け合いの会で地域共生を／コミュニティソーシャルワーカー
橋本久雄議員
（一人会派の会）



小平団地自治会、助け合いの会の活動から地域共生を考える

質問 ①ごみ出しなどの簡単なサポートを自治会が窓口で行う、助け合いの会の取組の評価は。

②取組が広がらない理由は。③地域連絡会がこの取組を行うことを協議できないか。

④地域包括支援センターを窓口としたモデル事業の検討は。市長 ①住みよい地域社会づくりに重要な役割を果たしている。②自治会は任意の団体で、活動内容が異なることなどによる。③自治会地域懇談会などでこうした先進事例を紹介する。④検討はしていないが、様々



市民の安全を守るため／市民菜園を増やし緑を守る啓発を
比留間洋一議員
（政和会）



市民の安全を守るための防犯カメラを増やそう

質問 ①商店街以外に防犯カメラが設置された場所はあるか。

②今後、設置する防犯カメラの数を増やす考えはあるか。

市長 ①中央公園の鷹の台駅への連絡地下通路に4台、教育委員会が設置したものとして学校通学路に11台などがある。

②自治会等からの設置要望について、地域住民等の合意があるなど設置の条件が整った場合に、都の補助金を活用し支援していく。現在、学園西町会への設置の支援をしており2年度中に設置が完了する見込みである。

質問 ①令和2年度の1区画当たりの年間貸出し金額は。②緑を守る啓発のため、市民菜園を増やす考えはあるのか。



ポストコロナに向け防災等の観点からインフラ等の現状を問う
山田大輔議員
（政和会）



ポストコロナに向け防災等の観点からインフラ等の現状を問う

質問 ①公共施設のフリーWi-Fi整備の現状は。

②UDトーク等の活用は。③コロナ禍においてルネこだいら各ホールの入場者数を半分にするならば、ホール使用料を半額にするべきではないか。

④新型コロナウイルス収束後の商店会の経済復興への対策は。市長 ①現在、市民活動支援センターあすびあに設置している。今後、小川駅西口地区市街地再開発事業の公共床の複合施設への導入を検討している。



小平市は市民から運動する場を奪いすぎなのではないか
福室英俊議員
（政和会）



小平市は市民から運動する場を奪いすぎなのではないか

質問 ①小川西グラウンド人工芝化への令和2年度の取組は。

②学校施設スポーツ団体開放、校庭の開放時間は4月から10月は午後7時まで延伸すべきでは。

市長 ①野火止菜園は1区画年間1万2千円、そのほかの菜園は1区画年間6千円である。

②まとまった土地の確保が難しいことなどから現時点で増やす考えはない。体験農園が4か所あり令和3年度も1か所開設するため、市は整備の支援をしている。今後も、市民が農業体験を通し緑と触れ合うことのできる場の提供に努めていく。

③市民総合体育館プール利用の制限解除へのロードマップは。④市民総合体育館1階プレイルーム再開へのロードマップは。⑤小平市が休止した学校施設や市営プール等と同様の近隣自治体の施設において、クラスターが発生した事案はあったか。



市長 ①今後の事業費が多額となることやサービスの拡充であること等から、実施を見送った。②学校教育及び近隣住民への影響など配慮が必要であるため、現時点では考えていない。

③新型コロナウイルス拡大状況等の動向を注視し国等のガイドラインに基づき判断していく。④感染防止対策の徹底が難しいため休止している。再開は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら判断していく。

⑤近隣自治体の公表状況等を確認した範囲ではクラスター発生事案はないものと捉えている。○令和2年度の一般会計補正予算において、市民の声は本当に反映されてきたのか

常任委員会 所管事務調査報告
各常任委員会では、課題を設定し政策課題調査を進めています。3月定例会最終日の委員長報告の概要は次のとおりです。

総務委員会
委員長 松岡あつし
○開催日 令和2年1月31日、令和3年3月9日（合計9回）
【調査事項】
○情報化推進について
【政策提言】
○ICT環境整備の加速化について
1 来庁せずに手続完了を目指す
・オンライン上で行政手続を終える仕組みの構築
・一元的なオンライン窓口導入
・プッシュ型の通知等のSNS

生活文教委員会
委員長 吉本ゆうすけ
○開催日 令和2年2月3日、令和3年2月1日（合計7回）
【調査事項】
○空き家対策（うち2回）
○ポストコロナ・ウィズコロナ時代の教育と経済（うち5回）

環境建設委員会
委員長 中江 美和
○開催日 令和2年2月5日、令和3年3月12日（合計8回）
【調査事項】
○人と動物の共生社会の推進について
【政策提言】
○人と動物の共生社会の推進について
1 動物愛護・動物福祉の推進
・飼い主の責務に関する広報と周知の充実

厚生委員会
委員長 山岸真知子
○開催日 令和2年2月4日、令和3年2月2日（合計8回）
【調査事項】
○子育てしやすいまちについて
環境建設委員会
委員長 中江 美和
○開催日 令和2年2月5日、令和3年3月12日（合計8回）
【調査事項】
○人と動物の共生社会の推進について
【政策提言】
○人と動物の共生社会の推進について
1 動物愛護・動物福祉の推進
・飼い主の責務に関する広報と周知の充実

一般質問

用語の解説

※1 初動活動ボックス（避難所開設BOX）とは

豊橋市の各避難所に配備された、避難所開設に係る手順を示す活動指示書や必要な資機材が収納されている箱のこと。

※2 パルスオキシメータとは

皮膚を通して動脈血酸素飽和度（SPO₂）と脈拍数を測定するための装置のこと。

※3 SOG²とは
性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字を組み合わせた表現のこと。全ての人の性の在り方を人権として考えていく際に使われる。

特別委員会調査等報告

3月定例会で各委員長が報告した、前回の中間報告（令和2年2月21日）以降の経過の概要は次のとおりです。

広聴広報特別委員会
（中間報告その2）
委員長 さとう悦子
○開催日 令和2年3月26日、令和3年1月19日（合計11回）
【主な内容】
・次回の議会報告会について
・市議会への提案箱に提出された意見等の取扱いについて

都市基盤整備調査特別委員会
委員長 松岡あつし
○開催日 令和2年6月17日、令和3年1月20日（合計3回）
【主な内容】
・都市計画道路等の整備状況
・駅前再開発事業の進捗状況
・都市計画公園の整備状況

公共施設マネジメント調査特別委員会
委員長 細谷 正
○開催日 令和2年6月18日、令和3年1月21日（合計3回）
【主な内容】
・令和2年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について（その1）（その3）

教育現場等での普及啓発の推進
外
2 地域猫活動の推進
・中心となる団体の育成推進
外
3 ペットの災害対策
・普及啓発
4 その他動物に関する施策
・庁内体制の構築 外

3月定例会

議案等に対する各議員の賛否

会派名略称 公明：市議会公明党（6） 政和：政和会（5） フォ：フォーラム小平（4） 一人：一人会派の会（4） 共産：日本共産党小平市議団（3）
（ ）内は各会派の議員数 生ネ：生活者ネットワーク（3） 市民：まちづくり市民こだいら（1…無会派）

区分	番号	件名	議決結果	公明						政和					フォ				一人				共産		生ネ		根	賛	反	
				虹川 浩	山岸真知子	佐藤 徹	津本 裕子	橋本 孝二	幸田 昌之	松岡あつし	比留間洋一	鈴木 洋一	福室 英俊	山田 大輔	竹井ようこ	吉本ゆうすけ	川里 富美	小林 洋子	伊藤 央	中江 美和	橋本 久雄	安竹 洋平	細谷 正	きせ恵美子	鈴木だいち	さとう悦子	山崎とも子			山浦まゆみ
市長提出議案	第4号	令和3年度小平市一般会計予算	原案可決	○	○	○	※副議長	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	16	9
請願	第5号	旧佐川邸の土地を売らないことも含め、市民の意見を聞きながら公園整備を行うことについて	採 択	×	×	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	5

○：賛成 ×：反対 ※副議長は、議長の職務のため表決に加わっていません。

全会一致で議決した議案等 注1

区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
議員提出議案	第27号	喜平橋周辺と歩道の安全確保のための早急な整備を求める意見書	原案可決			
市長提出議案	第1号	令和2年度小平市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	第13号	小平市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第2号	令和2年度小平市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	第14号	小平市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第3号	令和2年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	第15号	小平市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第5号	令和3年度小平市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	第16号	小平市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第6号	令和3年度小平市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	第17号	小平市立障害者福祉施設条例の一部を改正する条例	原案可決
	第7号	令和3年度小平市介護保険事業特別会計予算	原案可決	第19号	訴えの提起	原案可決
	第8号	令和3年度小平市下水道事業会計予算	原案可決	第20号	令和2年度小平市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
	第9号	小平市公文書等の管理に関する条例	原案可決	第21号	令和3年度小平市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
	第10号	小平市個人番号カードの利用に関する条例を廃止する条例	原案可決	第22号	小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
	第11号	小平市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決	第23号	損害賠償の額の決定等	原案可決
	第12号	小平市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決			

注1 副議長は、議長の職務のため表決に加わっていません

「市民と議会の意見交換会」を開催します

テーマ「今、議会に望むこと コロナ禍でお困りのこと、お聞かせください」

市議会では、今年最初の意見交換会を開催します。今回は、会場にお越しいただく以外に、オンライン（Zoom）による参加も可能です。

- 日程 5月15日（土） 午前10時から正午まで
会場 学園西町地域センター 第一・第二集会室
内容 3月定例会及び4月臨時会の報告、新型コロナウイルス対応についての現状説明、テーマや市政全般についての意見交換
費用 無料（オンラインでの参加の場合、通信料は自己負担）
定員、申込み

	定員	申込み
(1)オンライン（Zoom）での参加	30人	期間：5月6日（木）午前8時30分から、5月14日（金）正午まで 方法：上記期間内に、問合せ先にメールまたは電話で申込み（先着順） ※申込みに当たっては、事前に市議会ホームページをご確認ください。
(2)会場での参加	10人	申込み不要、直接会場へ（先着順）

- ※1 手話通訳あります（申込み不要）。手話通訳者もカメラに映るよう配慮します。今回、磁気ループと保育はありません。
※2 オンラインでの参加の場合は、Zoomを利用したコメントのみの参加となります。
※3 その他、注意事項等は、市議会ホームページをご覧ください。

問合せ 議会事務局 ☎042（346）9566 メール gikai@city.kodaira.lg.jp



請願・陳情

3月定例会では、請願1件を新たに受理し、採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

旧佐川邸の土地を売らないことも含め、市民の意見を聞きながら公園整備を行うことについて

1 旧佐川邸の土地を売らないことも含め市民の意見を聞きながら公園整備を行ってください。
2 ふるさと納税について、「制度本来の趣旨に沿った、一定額以上の寄附が見込める場合に限り」「他市財源を奪わないよう、寄附上限を市の前年度ふるさと納税流出額分までとする」など

請願者 岡江 伸子
小平市上水南町2丁目

意見書

3月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。（要旨）

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。（地方自治法第99条）

喜平橋周辺と歩道の安全確保のための早急な整備を求める意見書

あかしあ通りと五日市街道が交差し、玉川上水に架かる喜平橋は平成3年（1991年）に改修さ

議員の辞職

議員辞職願について、2月18日に磯山 亮議員（政和会）から、3月26日に小林洋子議員（フォーラム小平）から、それぞれ市議会副議長に提出され、同日付で許可されました。

なお、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第106条の規定により、副議長が議長の職務を行います。

あとがき

3月定例会では、各会派からの代表質問などが行われました。今後もより分かりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-18701 小平市小川町二丁目

1333番地

☎042（346）9566

FAX 042（346）9567